

## 愛知県立大学の日本語教育実習生と日本赤十字社が協力して 長久手市の防災訓練で「多文化共生と防災」をテーマにブース出展します

愛知県立大学の日本語教員課程で学ぶ日本語教育実習生は、毎年4月から1年間、長久手市国際交流協会日本語ボランティア教室で、市民のボランティアメンバーと共に日本語を教えるボランティア活動を行ない、長久手市の多文化共生について理解を深めています。また、地域の外国人支援で必要とされることについて理解を深めるため、今年は、特に「防災」をテーマに定め、長久手市国際交流協会日本語ボランティア教室との合同研修（8月5日）、日本赤十字社愛知県支部との模擬授業とワークショップ（10月25日）などを行ってきました。この一環として、11月19日に開催される長久手市の防災訓練において、「多文化共生のまちづくりと防災時のコミュニケーション」をテーマにブース出展をします。

当日は、23名の日本語教育実習生と、10名の交換留学生が防災訓練に参加するとともに、日本赤十字社愛知県支部が外国人住民を対象としたAED体験も行います。また、地域住民と交流を図りながら、災害時の外国人住民とのコミュニケーションについて考えるきっかけにします。



昨年度の活動の様子  
（長久手市立東小学校）

### 長久手小学校・南小学校で出展

#### 展示「やさしい日本語」で南海トラフ地震を知る シミュレーションゲーム 防災クイズに挑戦！

災害時、地域住民の誰もが同じ情報を手に入れる手段のひとつに「やさしい日本語」があります。この重要性を知ってもらうために、具体的な例として南海トラフ地震に関する情報をポスター展示します。「やさしい日本語」とは何か、どうすればやさしい日本語が使えるようになるかを、県大生と一緒に考えるポスター展示です。

避難所で外国人住民が困ることは何かを知るための企画です。言葉が通じない場面で何にとまどうのか、日本人住民に経験してもらおうと共に、どのような工夫が必要かについて話し合います。



準備を進める実習生

#### 新聞紙でお皿を作ろう

日常でも活用する機会が多い新聞紙は、災害時にも大変役立ちます。このブースでは、県大生との新聞紙のお皿を通して、地域住民や外国人留学生と話しながら、防災について考えます。

### 長久手小学校で出展

#### 日本赤十字社愛知県支部によるAED体験

日本赤十字社愛知県支部が行っている外国人住民向けのやさしい日本語による救命講座のデモンストレーションを行います。

この準備のために、10月25日に愛知県立大学で実施したワークショップでのディスカッションを行いました。



10月25日のワークショップ

### 南小学校で出展

#### 愛知県大交換留学生による 海外防災情報ポスター展示

県立大学に留学している交換留学生が、出身国の自然災害や防災についてポスター展示を行います。

日時：11月19日（日曜日）

9:00～11:00ごろ

場所：長久手市立長久手小学校  
長久手市立南小学校

#### ■愛知県立大学日本語教員課程

愛知県立大学日本語教員課程は、外国語学部・日本文化学部・教育福祉学部の学生が履修できる副専攻課程です。県立大学の日本語教員課程の特徴として、プロの日本語教師だけでなく、多文化共生社会における外国人住民と日本人との橋渡しの存在として活躍できる人材育成を目指している点が挙げられます。

3、4年次に行なう1年間の国内実習では、長久手市国際交流協会日本語ボランティア教室での活動や交換留学生への日本語学習支援をはじめ、豊田市保見団地の小中学校見学、愛知県国際交流協会での見学・実習等を通して、地域社会における多文化共生に関連した課題の理解と、さまざまな多言語・多文化の場面で必要となるコミュニケーション能力を身につけます。

【本件に関する問い合わせ先】

愛知県立大学戦略企画・広報室（藤本・伊藤） 愛知県長久手市茨ヶ廻間1522-3

Tel: 0561-76-8636